

「2025年 新年のごあいさつ」 社会福祉法人みんななかま理事長 市川 修二

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、社会福祉法人みんななかまに対しまして、格別なご理解とご指導を賜り心から感謝申し上げます。本年も引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

昨年、世界では戦争が絶えることなく、多くの子どもを含む犠牲者が出ています。また戦争は、多くの障害者を生み出します。今年こそ、一日も早く戦争が終結し、誰もが安心して暮らすことができる平和な世界になることを強く願っています。

本年は、2005年（平成17年）10月に、みんななかまが社会福祉法人として認可されてから20周年の節目の年に当たります。この間、多くの皆様のご支援・ご協力により、生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービス、日中一時支援事業をはじめとして、様々な事業を実施することができました。そして、当法人にとって初めての事業である念願のグループホーム（共同生活援助）の開設（2027年度予定）に向けて、本年には土地の取得、その後施設的设计等、建設準備に取り組んでまいります。昨今の諸物価の高騰は法人運営に大きな困難をもたらしています。グループホームは大きな事業であり、これまで以上に皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。今後とも、障害児者の人間としての尊厳を守り、権利保障と施策の充実とともに、ケア労働者の処遇が抜本的に改善されることを望み、利用者のニーズにこたえる充実した支援のため、全力で取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

## 「法人理念の実現へ 一步一步 前へ」

将来構想5か年計画「なかま『ばちばち』プラン」3年目にむけて

社会福祉法人みんななかま 統括施設長 竹内 仁

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が国内で確認されてから、5年が経過し2025年で6年目となります。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行して2年が経過しようとしています。社会は活気を取り戻し日常もコロナ禍前の状態で生活することが可能となってきています。

社会福祉法人みんななかまの各事業の取り組みも徐々に活動の範囲を広げています。ものづくりスペースみんななかま（生活介護事業、就労継続支援B型事業）は、数年間中止となっていた日帰り旅行を昨年（2024年）は行いました。また、地域のイベント（スポーツ大会など）にも参加する回数を増やしていきました。利用者にとって新しい体験ができる貴重な機会となっています。ただ、新型コロナウイルスは収束していません。他の感染症（インフルエンザなど）にも注意は必要です。引き続き感染対策の意識を高めながら適切な判断のもと取り組みをつくっていききたいと思います。

2023年4月よりスタートした将来構想5か年計画「なかま『ばちばち』プラン」は2025年度で3年目となります。この将来計画の中心課題であるグループホーム建設にむけて一年、一年前へ進めている状況ですが、進めていく過程では困難となる事案も多く発生します。計画通りに進めば3年目となる年は、行政との協議とあわせて、事業内容、実施体制、予算の具体化など法人内部での調整も本格化していきます。

直面する課題については地域の皆様のお力をかりながら乗り越えていきたいと思っております。また、行政の強力なご支援も必要と考えております。社会福祉法人みんななかまの法人理念にもとづいて策定された「なかま『ばちばち』プラン」を一つひとつ実現させていくことが、法人理念に近づいていくことにもなります。職員もこれまで以上に連携を深めて取り組んでいきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

社会福祉法人みんななかま 発行

〒610-0121 城陽市寺田垣内後 69-1

TEL 0774-55-5583 / Fax 0774-46-9511

メールアドレス: [mnakama@khaki.plala.or.jp](mailto:mnakama@khaki.plala.or.jp)

ホームページ: <https://mina-nakama.com>

# ♪ ♪ ♫ 日帰り旅行 ♪ ♪ ♫

ものづくりスペースみんななかまでは、10月・11月の期間に各チーム単位での日帰り旅行に行ってきました。ピーナッツチームは名古屋港水族館・にこまるチームは二フレル・このこのチームはローザンベリー多和田・かまくらチームはブルームの丘・プリザムZチームはスプリングひよしとそれぞれのチームで行先を考え、企画しました。ピーナッツチーム、にこまるチームはいつもよりも豪華なお弁当を食べたり、いろんな生き物を間近で見たりと、普段なかなかできない経験をすることが出来ました。かまくらチーム、このこのチーム、プリザムZチームは昼食にバーベキューをし、おいしいお肉や野菜をたくさんゆっくりと堪能し、その後も散策にドライブと満喫しました。日帰り旅行は、いつもの取り組みよりも時間が長いので、遠出したり、ゆっくりと過ごせたりとてもいい時間になったと思います。来年も企画し、わくわくしながら楽しく行けたらと思います。



**このこのチーム**  
(生活介護事業)

**プリザムZチーム**  
(生活介護事業)



**ピーナッツチーム**  
(生活介護事業)

**かまくらチーム**  
(就労継続支援B型事業)  
(生活介護事業)

**にこまるチーム**  
(生活介護事業)



## ショートステイそよかぜ活動報告

ショートステイそよかぜは、2016年8月にショートステイの指定事業所として、仮施設でスタートしました。消防法の改正によりスプリンクラーの設置が必要となり、一時休止していましたが、山城北保健所と協議を重ね、国庫補助申請が通り、2020年5月にウィズ施設で事業を再開しています。最初は「そよかぜ」の事業のあり方をどういう方向性にしていくかを協議していましたが、スプリンクラーの工事期間中に世界的に新型コロナウイルスが大流行！医療的ケアの必要な人は感染症にかかると命に関わる人も多いので、職員間で検討を重ね、医療的ケアの必要な人が中心に利用するショートステイを行う場所とし、現在に至ります。社会福祉法人みんななかまが策定した将来構想5か年計画「なかま『ぱちぱち』プラン」に掲げている「医療的ケアの障害のある人の地域生活の保障」という方針に基づき、2024年4月から医療的ケアの方の受け入れ数を増やしました。ほんの少しの事でも体調急変が起こり、きめ細やかな配慮が必要な人達ばかりですが、様々な医療関係者の方にもご協力いただきながら、支援を行なっています。現在、4名の方が利用されていて、食事や入浴の時間以外は散歩に行ったり、音楽・DVD鑑賞をしたりと、本人のペースに合わせて、のんびりとした雰囲気の中で過ごしておられます。最初の頃は慣れない場所での宿泊ということもあり緊張した表情をされていましたが、慣れてくると徐々に笑顔を見せてくれることも多くなりました♪今回は簡単にではありますが、活動内容を紹介します。

### スケジュール(一例)

|       |          |       |      |
|-------|----------|-------|------|
| 17:30 | 開始       | 22:00 | 就寝   |
| 18:00 | 入浴       | 3:30  | 経管栄養 |
| 19:00 | TV・DVD鑑賞 | 6:30  | 経管栄養 |
| 20:00 | 経管栄養     | 9:30  | 終了   |

### 職員インタビュー

医療的ケアの障害のある人と宿泊をしている職員にインタビューを行いました。

🍓 ショートステイを行う上で心がけていることを教えてください。

てんかん発作や体調急変した時の状況に合った的確な対応と、ご本人のしんどさを少しでも軽減できるためのケアが必要と感じています。また、痰の吸引等があるため、常に目配りが大切と思っています。

🍓 ショートステイを行う上でやりがいを感じている点を教えてください。

利用者が夜しっかり眠れたと感じた時や、普段見ることのできない夜の様子を見られる時にやりがいを感じます。また、支援は1泊ですがご家族の方の休息につながれば良いなと思いながら支援しています。



# 職員研修を行いました

2024年10月15日(火) 9:30~12:00、北部コミュニティーセンターにて  
秋季研修を行いました。今回は2部制で、2つのテーマについて学習しました。

## <1部>虐待防止研修

講師：大石 英督 ものづくりスペースみんななかま かまくらチーム主任

虐待防止については、昨年度も行い今回改めて学習し、振り返る機会となりました。

「障害者虐待防止法」が施行されてから、全国的に見ても相談・通報件数が増加傾向にあります。これは職場内での「今のおかしくないかな?」と声をあげやすくなってきたといえるのではないのでしょうか。なぜ虐待が起こってしまうのか、起こらないためにはどうすればいいのかをチームで話し合い協力できる環境作り、風通しの良い職場づくりをしていかなければと思います。支援者としての人権感覚をしっかりと持ち利用者と共に穏やかに楽しく生活していける場所を作っていくことが必要と考えています。

## <2部>児童期につけたい力

講師：東 敦子 放課後等デイサービスみんなのいえ てらだのいえ職員

今回の研修では、個別・小集団療育を中心としている「てらだのいえ」、集団活動を中心としている「しもおたにのいえ」の両方に通所している小学1年生の児童の半年の成長を追いながらどのような支援が必要なのか、どう向き合っていくのか、成人期にも取り入れられる支援方法はあるのかということを学習しました。どちらの事業所でも「できた!」「わかった!」「伝わった!」を実感できることを大切に活動しています。“今”という時期だけを見るのではなく、過去の姿や将来の姿を見通しながら「何がわからないのだろう」「どうすればわかるかな?」「安心できる人はいるのかな?」「好きな事でできているかな?」「苦手なことも言えているかな?」といろいろなことを考えながら関わっていくことはとても大切なことです。児童期も成人期も同じで「わかりやすい支援」「いつでも、誰でも同じように支援できたら本人も安心、楽に生活できる」といえます。そうした生活を送れるようにするためにはどうすればいいのか。きっと問題行動と呼ばれる行動とも向き合うことが出てくるでしょう。そういった時こそピンチをチャンスととらえ、ふりだしに戻って「何があったかな?」と考える、支援者の頭を柔軟にして「これがだめならこっちでいこう」と工夫しながら共に成長していけるように日々の活動、支援の在り方を考える機会になりました。子どもたちには素敵な大人になって欲しいです。そのための環境として、いつでも、誰でも同じように支援できるようにサポートブックを活用したり、誰でも支援しやすいグッズや方法を見つけていくことが大切です。また、家族の方が本人の思いや願いを理解し、子どもと心がつながるサポートをしていけるよう関わっていきたいと思いました。



~Thank You~

様々なご支援ありがとうございます

~ボランティアでご協力くださった方々~

吉田 純子 様 井澤 陽子 様  
北田 ラク 様 斎藤 璃恩 様  
山下 心優 様 塩見 るい 様  
神館 璃彩希 様

~製品をおいてくださっているお店~

あうんちゃん 様 Rencontre 様

## みんななかま後援会

### 更新・新規ご入会のお願い

新年度の後援会のご更新・新規加入をよろしくお願い致します。皆様のご協力が、みんななかまの送迎車両、備品購入などに役立てられています。

口座名義 : みんななかま後援会  
郵便振込口座番号 : 01080-5-19224

個人会員 1口 1,000円  
企業・団体会員 1口 3,000円

<振込用紙での振込又は施設へお持ち下されれば幸いです>